

地区別構想については、地区区分を市街化区域と市街化調整区域の別や大字区分などをもとに、町内を下記の4地区に区分し、それぞれの地区におけるまちづくりの方針を示すものとします。

なお、地区区分は下図に示すとおりとします。

地区区分図

●北部地区

大字築比地の全部
大字金杉の全部
大字魚沼の全部
大字大川戸のほぼ全部

●中央西部地区

田島東を除く
市街化区域全部

●中央東部地区

田島東の全部
大字松伏の一部
大字田島の一部

●南部地区

大字松伏の一部
大字上赤岩の全部
大字下赤岩の全部



1

北部地区

(1) 現況と課題

北部地区は、全域が市街化調整区域で、東部の江戸川沿いの集落、西部の大落古利根川から県道春日部松伏線・野田岩槻線にかけての集落、中央部の中川沿川の豊かな水田地帯で構成されています。

集落の中には、ひとまとまりの開発により形成された既存住宅団地が点在していますが、中央部の水田地帯は、ほぼ全域が農業振興地域の農用地区域に指定されています。

北東部の台地には、豊かな自然林や屋敷林が広がり、特徴的な景観を形成しているとともに、史跡や遺跡が多く存在し、歴史を感じさせてくれます。

その反面、狭あいな生活道路や排水路の整備が望まれるとともに、農業従事者の高齢化や後継者不足、バス交通の利便性の低さなどが課題としてあげられます。

(2) まちづくりの方針

- ① 県営まつぶし緑の丘公園をみどりの拠点、地域の活性化拠点、賑わいかつ憩いの場、地産地消など農業対策の推進の場として利活用を進めます。
- ② 大川戸地区に指定した工業系の土地に企業立地を促進します。
- ③ 生活道路や排水路などの生活基盤の整備を一体的に進めます。

(3) 主な施策

- ・ 県営まつぶし緑の丘公園の利活用の促進
- ・ 狭あいな生活道路の改善
- ・ 幹線道路の整備に合わせたバス交通の利便性の向上
- ・ (都) 東埼玉道路の整備促進
- ・ 交通需要の増大に対応したせんげん台駅方面や野田市方面への新たな道路整備の検討
- ・ 生活雑排水対策としての合併処理浄化槽の普及促進と排水路の整備推進
- ・ 農業集落排水処理施設の適切な維持管理
- ・ 河川の水質保全や営農環境の向上のための排水路の整備推進
- ・ 中川沿川の優良農地の保全と、農業の担い手への土地利用集積の促進
- ・ 大川戸地区の工業団地の整備と企業立地の促進
- ・ 河川環境や緑豊かな自然環境など多様な環境の保全
- ・ 景観、史跡や遺跡の保全・活用

2

中央西部地区

(1) 現況と課題

中央西部地区は、全域が市街化区域で宅地化が進んでいます。

(県)越谷野田線や(県)葛飾吉川松伏線が通り、バス交通の利便性も高い地域です。

また、町役場、郵便局、中央公民館などの公共施設や医療機関、商店などのサービス施設が集まっており、町の中心地域となっています。

さらに、松伏総合公園、松伏記念公園をはじめとした都市公園も多く点在し、水と緑が共存する居住空間でもあります。

この地区の課題は、地域住民間のコミュニケーション、既存住宅地の狭あい道路対策、既存公共施設の維持管理などがあげられます。

(2) まちづくりの方針

- ①快適かつ便利な居住空間として、地区全体の均衡のとれた保全を図ります。
- ②河川環境や自然環境の保全を図るとともに、既存道路、水路、公共下水道の維持・改修、公園の維持管理・利活用などを進めます。
- ③広域幹線道路である(都)浦和野田線の未整備箇所の整備促進や(都)八反河原町線の整備を推進します。

(3) 主な施策

- ・(都)浦和野田線の未整備箇所の整備促進
- ・(都)八反河原町線の整備推進
- ・松伏総合公園など整備済み公園の維持管理
- ・既存道路・水路の維持、修繕改修の推進
- ・公共下水道の適切な維持管理、接続率の向上
- ・河川環境や緑豊かな自然環境など多様な環境の保全

(1) 現況と課題

中央東部地区は、農村的要素と都市的要素の二面性を持つ地域です。

東埼玉テクノポリスのある田島東を除く全域が市街化調整区域となっています。

県道中井松伏線に沿って既存の集落が形成され、(県)越谷野田線の両側に住宅や商店、さらに、第一保育所、かるがもセンター、学校給食センターなどの公共施設があります。

また、地区の東側を南北に流れる中川に沿っては、豊かな水田地帯が広がっています。

中川河川敷の景観など良好な自然環境が残る反面、道路や排水路などの生活基盤の整備が望まれています。

地区の中央を東西に横断する(都)浦和野田線は、(県)中井松伏線まで整備され、東側への延長についても事業着手され、その東側への延長区間と交差する(都)東埼玉道路についても、一般部の工事が着手されたところです。

これらの整備と合わせ、新たな市街地の形成を検討する必要があります。

(2) まちづくりの方針

①(都)東埼玉道路と(都)浦和野田線の結節点を松伏インターチェンジと位置づけ、その周辺地域について、職住近接と町民全体の交流の中心となる核づくりによる新市街地の形成を推進します。

(仮称)ゆめみ野北地区については、市街化区域に編入し、基盤整備による複合型市街地の形成を図ります。

②(都)東埼玉道路の整備に伴い、交通アクセスの優位性が大幅に向上することから、周辺地域については、乱開発抑止基本方針により無秩序な開発を抑制するとともに、周辺環境に配慮した新たな企業誘致や施設配置を計画的に行い、地域の活性化を図ります。

また、地域活性化の拠点となるバスターミナルを併設した道の駅の設置を推進していきます。

③河川環境や自然環境の保全を図りながら、既存住宅地の生活基盤の整備を推進します。

(3) 主な施策

- ・(都)東埼玉道路の整備促進
- ・(都)浦和野田線の未整備箇所の整備促進
- ・(都)東埼玉道路、松伏インターチェンジ周辺エリアの開発の検討
- ・高速鉄道東京8号線の整備促進及び高速鉄道東京8号線松伏新駅周辺エリアの開発の研究
- ・生活雑排水対策としての合併処理浄化槽の普及促進と排水路の整備推進
- ・既設道路・水路の維持・補修改善の推進
- ・河川環境や緑豊かな自然環境など多様な環境の保全

4

南部地区

(1) 現況と課題

南部地域は、全域が市街化調整区域で、(県) 葛飾吉川松伏線沿いに集落が形成されています。

また、大落古利根川、中川という二つの一級河川が流れ、集落の東西には農地が広がっており、美しい景観を呈しています。

西側の畑作地帯、東側の水田地帯とも、農業振興地域の農用地区域に指定されています。

この地区も北部地区と同様に、狭あいな生活道路や排水路の整備が望まれるとともに、農業従事者の高齢化や後継者不足などが課題としてあげられます。

今後は、生活の利便性の改善、優良農地の環境保全、農業生産基盤の整備などを進める必要があります。

(2) まちづくりの方針

- ①都市型農業地帯として、農業生産基盤の整備、新たな特産品の開発、地産地消推進、町民農園設置などを通して、農業と調和したまちづくりを進めます。
- ②吉川方面への新たな道路整備の検討などを進め、交通アクセスの充実を目指します。

(3) 主な施策

- ・(都) 東埼玉道路の整備促進
- ・狭あいな生活道路の改善
- ・生活雑排水対策としての合併処理浄化槽の普及促進と排水路の整備推進
- ・最終バスの時間延長や増便などバス交通の充実の促進
- ・吉川方面への新たな道路整備の検討
- ・河川環境や緑豊かな自然界境など多様な環境の保全